

## 今泉小学校児童急増対応に係る保護者説明会における質疑応答の内容について

令和7年8月9日に実施した、今泉小学校児童急増対応に係る保護者説明会でいただいたご質問と回答は以下のとおりです。

1. 国分北1丁目についても0～5歳児が多いが、上星小学区に再編する予定はあるのか。  
⇒近隣地域についても検討したが、結果としてめぐみ町のみ対象とした。他地域については、予定はない。
2. 学年行事は分散して行う予定はあるのか。入学式は、保護者があふれており、体育館に入れなかったのが、分散実施を検討してほしい。  
⇒学校行事については、都度、検討を行う。安全上問題がなければ全体で実施する。  
⇒今年度、5学級以上の学年については、水泳学習のみ分散で実施した。修学旅行、入学式や卒業式など学年全体でやることに教育的意義があるものは、工夫しながら学年で実施していきたいと考えている。
3. R8年度以降の児童数の推移について、この数字が目標値になるということか。指定校変更が可能となっているが、それにより数値は変動するのか。  
⇒めぐみ町の児童数を差し引いた数値となる。仮に全員が指定校変更しても問題ないように計画している。
4. エレベーターの安全対策について、機械上で安全配慮できるようにしてほしい。  
⇒エレベーターについては、学校と調整していく予定だが、西棟と同じように、児童は使用できないようにする予定である。
5. 新たな校舎を利用する学年について教えてほしい。  
⇒学校と調整しながら決定する。  
⇒現時点で利用学年は未定である。
6. 工事中の児童の安全確保について。

⇒工事区域は完全に仕切るため、関係者以外は立ち入ることはできない。

工事車両については、北側フェンスを取り壊し、通すことを考えている。また、登下校時を避け、立哨員を配置する。

⇒災害発生時における避難時の動線についても、プロポーザルの現段階から検討している。

7. 児童数増加による校庭利用等の教育活動の制限について。

⇒朝の時間の外遊びは行わないなどの工夫をしている。休み時間は、体育館や教室を活用するなど、工夫しながら対応する。

⇒休み時間の外遊びは学年によって使用する時間を決め、ローテーションすることを検討している。また、現在登校時間が、8:00～8:20だが、今後8:00～8:25分に拡大し、分散化に努める。

8. めぐみ町の人も今泉小学校に指定校変更が可能としてしまうと、学区の見直しが意味をなさないのでないか。

⇒元々指定校変更という制度があり、その中の要件の一つとして学区境がある。めぐみ町は学区境のため、制度上指定校変更が可能である。ただ学区の見直しにより、海老名小学校に行く児童も見込まれるため、意味がある対応だと考えている。

9. 補助金の関係で来年度着工できない可能性があるという。また、工事期間も短い、3月までに完了できるのか。

⇒提案業者から令和8年6月に着工できないと3月供用開始は難しいと言われている。そのため、補助金対象外工事を先に進めることも検討している。4月の供用開始は必ず進める。

10. 指定校変更について、資料に記載する必要はないのではないか。特別な事情もなく変更を認めていいのか。

⇒指定校変更は特段の事情により申立てが可能な制度。海老名市は他市に比べて特別要件が幅広く、その一つが学区境となっているが、自由に変更できる制度ではない。

11. 朝休みとはなにか教えてほしい。

⇒登校した後から朝の会が始まるまでの時間。

12. 通学路の関係から指定校変更を考えている。今後、下の子が指定校変更できず、兄弟が別になってしまう可能性はあるのか。

⇒めぐみ町の児童が全員指定校変更しても今泉小学校で受け入れ可能である。めぐみ町は指定校変更の要件を満たしており、変更を断ることはない。

13. 35人学級は、フルインクルーシブ教育の観点からすると、難しいのではないかと？

⇒クラスの適正規模については、フルインクルーシブ教育推進会議でも協議している。

⇒学校規模に関わらず、介助員や補助指導員などの様々な職員の活用し、支えていく。

14. 教職員の人数について、今泉小学校児童増加の影響があっても充足しているのか？

⇒教員数は国の定めを基に配置している。年度当初に担任が不在となるような状況ではないが、年度途中の産休の代替職員の確保は苦労している。

15. 令和12年度の教員数についても、充足するか？

⇒今後のことは確約できないが、県教育委員会と連携しながら欠員が生じないように対応する。

16. 児童数の推移について、学年別の推計値は算出しているのか。また公表できるのか。

⇒学年ごとに児童数を整理しており、公表できるかは協議する。最大で各学年が8クラスとされている。しかし、支援級の児童込みの数字のため、変動する可能性はある。

17. 今泉中学校の対策については検討しているのか。

⇒今泉中学校は令和7年度で700人、令和15年をピークとして1050人と推計している。

⇒学校施設については、今泉小学校と同じような工事を検討している。また、既存棟の全体的な改修が必要と認識しており、学校運営をしながら対応していく。

18. プロポーザルについて、他の事業者からの提案について教えてほしい。また、選定した事業者の提案の中で、市として何がよかったのか。

⇒4者から提案があった。他事業者も似たような提案内容であったが、選定事業者は市の

考えをよく理解した内容だった。

19. どの学年が使用するのか。特別教室の移動に時間がかからないのか。

⇒特別教室の配置は利用学年が決まってからになる。特別教室の移動時間も加味しながら検討する。

⇒現時点では、移動教室については問題ない。しかし、体育館の位置は変更できないので、学校と検討していく。

20. いじめ対策としてのスクールソーシャルワーカーの配置について教えてほしい。

⇒スクールソーシャルワーカーは教育支援センターに複数配置しており、学校を巡回している。今後も臨機応変に対応し、学校規模にかかわらず、事案ごとにこれまで以上にサポート体制を整えていく。

⇒令和7年度から、教育支援コーディネーターを2名配置、スクールカウンセラーも2名配置している。

21. 新設ではなく既存校での対応にした理由について説明してほしい。子どもにとって息苦しくないのか。今の子どもにも配慮し、新設校の整備も検討してほしい。

⇒児童増加については今後20年ぐらいで解消される見込みである。新設には50億程度費用がかかること、50年使用することを踏まえ、増築での対応となった。また、新設には許可等で時間がかかることも理由のひとつである。いずれにしても万全の体制を整えて進めていく。

22. グランドが狭くなることにより運動会や朝会の実施をどう考えているのか。

⇒安全上の問題を最優先にしながら工夫して実施していく。分けて実施することも考えている。

23. 海老名小学校の児童数は今後どのぐらい増加していくのか。めぐみ町以外の要因で増加するのではないか。

⇒令和7年度で800人超、今回の学区の見直しにより、全体として200人程度増加する見込みである。今後の開発の影響により、各学年1、2クラス増加する見込みである。

24. めぐみ町対象で行われた説明会資料の公開、議事録の公開について検討してほしい。

⇒後日公開する。

25. グランドが狭くなることで運動会の実施に懸念がある。保護者が観覧することができるのか。

⇒運動会については、毎年工夫しながら実施している。今年度も6学年で実施する。

令和8年度、工事が始まって以降、どのような実施方法がいいのか、今年度の結果で検討していく。

26. 既存校舎を改修する際、アスベストについてどのように対策するのか。

⇒アスベスト調査を実施し、含まれているのであれば配慮しながら安全第一で進める。

27. 運動会の実施方法で懸念がある。それを理由に指定校変更が可能か。

⇒指定校変更は個別案件であり、協議により決定するものであるため、この段階で可能かどうか申し上げることはできない。

28. 2032年に海老名中学校が移転すると噂で聞いたが実際のところどうなのか。

⇒10年間の短期計画で示しているが、2032年とは決定していない。候補地についても市役所周辺としているが、具体的に決まっていない。生徒がよりよい生活を送れるように検討していく。